

令和4年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

第1学年

| 教科 | 指導上の課題の分析⇒ | 指導の在り方⇒ | 授業改善の視点 |
|----|--|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせを楽しんだり、自分で好きな本を選んで読んだりする児童が多い。 ○話す、聞く力に個人差が見られる。読み取りが正確にできない児童が多い。 ○文章で書いて伝えることが苦手な児童が見られる。「は、を、へ」の使い方、拗音・促音を正確に表記できない児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○多くの物語に触れることができるよう、読み聞かせをしたり、本を活用したりする機会を多く設ける。 ○朝の会や学校生活の場面でスピーチをする機会を設け、話したり聞いたりすることの楽しさを感じることができるようにする。算数や他教科と関連させて、読解力が身に付くようにする。 ○相手や順序を考えながら書く力をつける。ひらがなの表記について授業や家庭学習で復習する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○教材と関連する本を紹介したり、様々なジャンルの本を読み聞かせしたりする。 ○自分が一番伝えたいことを考え、声の大きさや速さに気を付けて話すよう指導する。聞き手は、大事なことを落とさないよう聞くようにし、質問ができるようにする。 ○文例を提示し、書き言葉に慣れさせる。また、文に表しやすい題材を提示したり、話し合う中で書く事柄を決めたりできるようにする。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ○算数の学習に対し、意欲的に取り組んでいるが、答えが分かっているものについて、友達の考えを聞かない児童がいる。 ○計算能力に差がある。数の概念図と具体物とが結びつかない児童がいる。 ○問題文を正しく読み取る力が弱い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○意欲が保てるように、学習内容を充実させる。 ○児童の能力に合った課題を与える。 ○問題文を読むときに、分かっていることと尋ねていることがきちんと理解できるように、常に問いかける。 | <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活で生かせるような課題を設定する。 ○苦手意識のある児童には、ブロックなどの半具体物を用いた活動を取り入れる。早く終わってしまう児童には、確かめとしてブロックを使わせたり、自分で問題作りをさせたりする。 ○問題文を3つの文でとらえさせ、順を追って図に表していくことで、問題文を正しく読み取れるようにする。問題文から場面を図式化する活動を取り入れる。 |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの学校生活を支える人が多くいることを知る児童が多い。しかし感謝の気持ちをもって生活する意識がやや弱い。 ○植物に親しみ、成長を楽しむことができる児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校探検を通して、学校生活を支える人に質問をする。聞いたことをクラスメイトに伝える活動を取り入れる。 ○植物の成長を予想させ、多様な視点から観察することができるような問いかけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○どんな場面で誰にお世話になっているか学級指導の中で話す。自主的に挨拶をしたり、感謝をしたりできるようにする。 ○引き続き動植物を育てる活動を通して、自然に親しむ活動を取り入れる。 |

| 教科 | 指導上の課題の分析⇒ | 指導の在り方⇒ | 授業改善の視点 |
|----|---|---|--|
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながら友達と歌ったりリズムに乗って歌ったりしているが、発声方法や表現豊かに歌うことに課題がある。 ○器楽に関しては、指導時間が少ないことから、表現を工夫するまでには至らない。 ○音遊びやリズム遊びを楽しむことができる。 ○楽しく鑑賞することができているが、曲想を感じ取ることは難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の歌声に気を付けて歌えるように、体を使って歌ったり、互いに歌声を聴き合ったりする活動をする。 ○楽器の基本的な奏法を指導し、身に付けさせることで、どのように演奏するか、児童が進んで考え表現できるようにする。 ○つくった音楽を児童同士で聴き合うことで、表現の幅を広げられるようにする。 ○音楽に合わせて体を動かす活動や、感じ取ったことや気付いたことを伝え合う活動を一層取り入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○互いに聴き合う活動の際に、「強弱」や「速さ」等の音楽を形づくっている要素に気付けるような声かけをする。 ○鍵盤ハーモニカでは、運指を一つ一つ確認しながらの練習や、「トゥートゥー」と言う練習をさせてから唄口を使ったタンギングの練習を積み重ねる。 ○つくった音楽を児童同士で聴き合い様々な音や音楽に触れる機会を設ける。 ○楽曲の特徴がよく表れている部分を取り出して鑑賞させる。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ○楽しく創作活動に取り組んでいる児童が多い。自分の思いが先行してしまい、ねらいから外れてしまう児童がいる。 ○自分のアイデアをもち、進んで活動に取り組む児童が多い。しかし、思い通りに表現できないと、あきらめてしまうことがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題の意図が理解できるように、めあてや取り組む活動を明確にする。 ○一つのイメージにとらわれず、現状を活用して、新しいものを生み出したり、捉え直したりする、発想や視点を転換できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書や作品例を提示し、どんな活動ができるか、条件を示したり、児童自身に考えさせたりする。 ○材料の準備について早めに家庭に知らせ、協力を求める。次回の学習内容を伝え、児童へ材料等の説明をし、イメージをもたせる。 ○教師が児童とは異なる見方を助言したり、友達同士で見合ったりして、多角的に良さを見つける活動をする。 ○教師が児童の作品の工夫したところなどを取り上げ、友達の作品のよさに気付けるように促す。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ○固定施設等を握って体を支えたり、逆さになったりすることに苦手意識がある児童がいる。 ○基本的な集団行動や、姿勢の保持が難しい。 ○よい動きを見付けたり、友達に上手に伝えたりすることができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○様々な運動遊びを通して、運動する楽しさを味わわせるとともに、体力をつけたり、多様な体の使い方ができるようにしたりする。 ○集団行動を覚え、できるようにする。 ○「よい動き」とはどのようなものか分かるようにし、言葉で伝えられるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題に合わせて、目標回数や、用具や場を工夫して設定する。準備や片付けをスムーズに行い、運動時間を確保する。 ○「気を付け」「休め」等の集団行動を授業等で繰り返し取り組む。集団行動の意義を伝えたり、よくできている児童を褒めたりする。 ○「よい動き」の基準を絵や見本となる児童の動きで示す。オノマトペを活用する等して、動きのポイントを教師が伝えたり、児童の発言等から言語化したりする。 |